

令和 7年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課
担当名：総務・計画・団体担当
内線：3296

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S131	災害時のためのランニング備蓄事業費			一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	高齢者・障害者災害時支援体制整備費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	災害時のためのランニング備蓄事業実施要領			針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール 11	
						分野施策	0101	危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット 11-5	
1 事業概要 近年各地で地震や水害などの広域災害が多発しているが、災害時要配慮者への支援体制は十分とはいえない状況である。特にストーマ用装具を使用している内部障害者にとっては、災害時の同装具確保は重要であり、時には生命にも関わる問題となる。 本事業はストーマ用装具(消耗品)をランニング備蓄の方法により常備し、大規模災害時に備蓄事業者から購入して、避難所にいる要配慮者に配布するものである。 在宅の災害時要配慮者である内部障害者への支援体制を整え、その福祉の向上に資することを目的とする。 避難所生活困難者支援のためのランニング備蓄 936千円				5 事業説明 (1) 事業内容 避難所生活困難者のためのランニング備蓄 936千円 大規模災害時、ストーマ用装具を必要とする内部障害者が避難所での生活に支障をきたすことがないように、ランニング備蓄の方法によりストーマ用装具の調達体制を整備する。 (2) 事業計画 福祉用具業者とランニング備蓄委託契約を締結し、災害時に必要なストーマ用装具等(想定対象者321人×4日分)の調達体制の整備を行う。 ア ストーマ用装具 1,286枚 (蓄便袋 890枚) (蓄尿袋 396枚) イ 保護シール(用手成形皮膚保護剤) 260枚 (3) 事業効果 ストーマ用装具を次のとおり避難所に配布できる体制を整え、ストーマ使用者の災害時支援体制を確保する。 令和4年度 想定対象者304人×4～5日分 1,486枚 (蓄便袋 1,052枚、蓄尿袋 434枚) 保護シール284枚 令和5年度 想定対象者314人×4～5日分 1,480枚 (蓄便袋 1,088枚、蓄尿袋 392枚) 保護シール256枚 令和6年度 想定対象者315人×4～5日分 1,308枚 (蓄便袋 906枚、蓄尿袋 402枚) 保護シール262枚						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	936								936	27
前年額	909								909	

事業内訳書

事業名	災害時のためのランニング備蓄事業費		
単位事業名	避難所生活困難者支援のためのランニング備蓄	予算額	936千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	936	27	
合計	936	27	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	898	27	医療材料費(ストーマ用装具等購入費)
委託料	38	0	委託契約管理費1,200円×12ヶ月×2営業所
合計	936	27	